

印西市合併記念事業(市民提案型事業)を募集

広がる人と人との輪 新市誕生の輝きへ

市では、合併を記念し、新市の速やかな一体性の確保、市民相互の親睦および地域コミュニティの醸成を目的に、市民のみなさんが自ら実施する合併記念事業を公募します。

●応募資格: 広くまちづくり活動を行っている個人または地域活動団体(市民活動団体、ボランティア団体、特定非営利活動法人、子供会、町内会など)、学校、民間事業者などで次の条件を満たす団体

広報いんざい市長室

山崎山洋



5月29日から6月19日の間の土・日曜日に、市内8カ所地区型の「ふれあい懇談会」を行いました。

さて、6月15日に「印西市次世代育成支援行動計画一後期計画」の概要版を各世帯に配布したことから、今回は「印西市次世代育成支援行動計画」について紹介します。

「印西市次世代育成支援行動計画」は、子育て支援を積極的に行うことを目的として、平成17年3月に前期計画を策定しました。

前期計画(平成17年度~21年度の5年間)のもとでは、8カ所の子育て支援拠点事業や、子どもにかかる医療費を軽減するため市単独の乳幼児医療費助成と子ども医療費助成などを行っています。

後期計画の期間は、平成22年度~26年度の5年間です。前期計画の基本理念を引き継ぎ、待機児童ゼロを目指す保育サービスの確保、子育て支援センターなどの支援拠点を中学校区ごとに整備することや、子ども医療費助成制度の拡大などを重点事業としています。

後期計画策定に当たりアンケート調査を行いました。回答をいただいた約8割の人が印西市を子育てしやすいまちと感じていることが分かりました。

交付額に千円未満の端数が生じた場合、千円未満を切り捨て、また、当該補助金の交付は、一団体に付き一回限り。

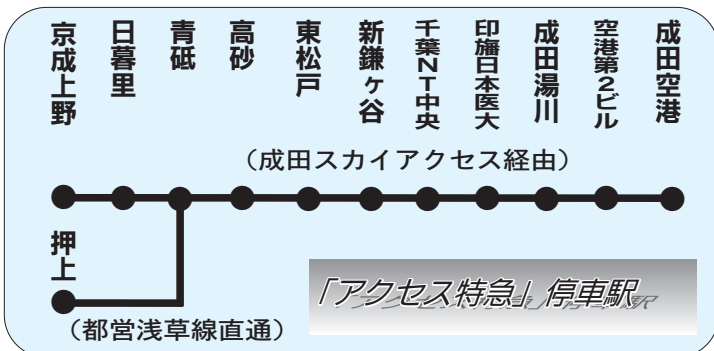
3月31日の間に実施し、かつ、単年度で完了する事業。ただし、次に掲げる事業は、補助対象外。

●営利を目的とする事業。●市からほかの補助金の交付を受けている事業。

7月17日(土)開業 成田スカイアクセス

成田スカイアクセス

7月17日(土)から、都心と成田空港を結ぶ成田スカイアクセスが開業します。



「アクセス特急」停車駅: 成田空港、空港第2ビル、成田湯川、成田日本医大、千葉NT中央、新鎌ヶ谷、東松戸、高砂、青砥、日暮里、京成上野、押上。

北総線の運賃値下げ: 昨年11月30日の千葉県および沿線自治体、鉄道事業者間における合意に基づき、北総線の運賃は、成田スカイアクセス開業日から、普通運賃約4.9%、通学定期運賃約25%、通勤定期運賃約1.1%の値下げが実施されます。

心の病気の治療法 その2: 心の病の治療法について、「薬物療法」と同様に「精神療法」も大切です。

「まちづくりファンド」は、公益信託制度として、市が信託銀行(千葉銀行)にまちづくりファンドを信託し、市民・企業・行政などが力を合わせ、市民の自主的で主体的なまちづくり活動を支援する仕組みとして設置された助成制度です。

北総線の運賃値下げ: 昨年11月30日の千葉県および沿線自治体、鉄道事業者間における合意に基づき、北総線の運賃は、成田スカイアクセス開業日から、普通運賃約4.9%、通学定期運賃約25%、通勤定期運賃約1.1%の値下げが実施されます。

北総線割引通学定期助成が終了: 市では、平成17年度より北総線通学定期乗車券の購入代金の一部を助成していましたが、実施期間が7月16日(金)で終了するため、7月16日を超える割引通学定期は購入できません。

「公益信託印西市まちづくりファンド」寄付のお願い

「まちづくりファンド」は、公益信託制度として、市が信託銀行(千葉銀行)にまちづくりファンドを信託し、市民・企業・行政などが力を合わせ、市民の自主的で主体的なまちづくり活動を支援する仕組みとして設置された助成制度です。